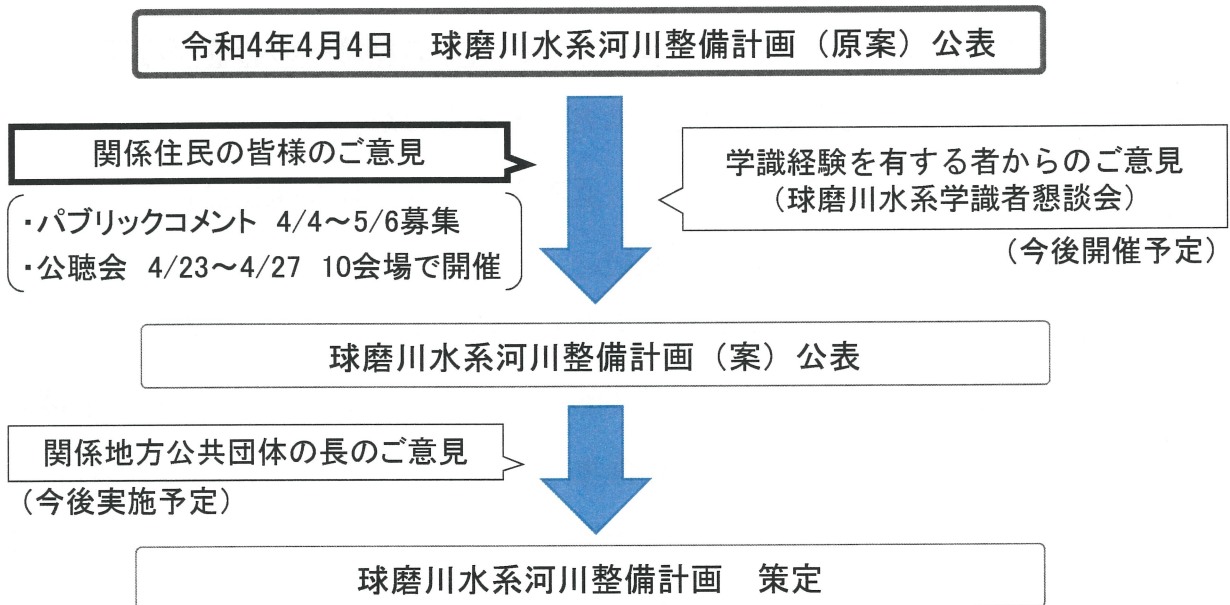


球磨川水系に係る治水対策及び 五木村振興等について(報告)

1. 球磨川水系河川整備計画について

- 令和2年7月豪雨以降、流域で開催した説明会や日々の行政を進める中で住民の皆様から頂いたご意見と、学識経験者から頂いたご意見を国と共有し、球磨川水系河川整備計画（原案）を作成。令和4年4月4日に公表。
- この原案に対し、あらためて関係住民の皆様のご意見を伺うため、パブリックコメントを実施するとともに、これに加えて、流域の10会場で公聴会を実施。【パブリックコメント：延べ455件、公聴会：33名】
- 現在、多岐にわたるご意見を一つ一つ詳細に確認しており、今後、学識経験者のご意見を伺った上で、河川整備計画（案）を作成し、関係首長のご意見を伺って河川整備計画を策定予定。

◆ 河川整備計画策定までの流れ



2. 流水型ダムに係る環境アセスメントについて

令和4年3月25日 川辺川の流水型ダムに関する環境配慮レポート公表
4月21日 流水型ダムに係る環境影響評価審査会開催

※今後、環境配慮レポートに対する知事意見を6月22日までに提出予定

3. 球磨川流域治水協議会について

令和4年6月17日 第6回球磨川流域治水協議会開催
（流域治水プロジェクトの進捗状況等について）

4. 五木村の振興について

- 6月5日に知事が五木村を訪問し、村民の皆様に対し、流水型ダムを含む「緑の流域治水」の推進を決断した経緯と五木村の振興にかける決意をお伝えするとともに、県から、流水型ダムを前提とした新たな五木村の振興計画の方向性（別紙のとおり）を説明。
- 今後も、村民の皆様の御意見を丁寧にお聴きしながら、秋頃を目指し、新たな五木村の振興計画を策定できるよう取り組んでいく。
- なお、流水型ダムの建設予定地となる相良村についても、7月2日に知事が訪問し、村の振興に向けた村民の皆様の御意見をお聴きする予定。

(1) 村民説明会の概要

6月5日（日）の午前・午後2会場で開催し、124名（午前：93名 午後：31名）の村民の皆様が参加。

【村民の皆様の主な意見】

- ・ 平成8年に多目的ダム建設の着工に同意したが、流水型ダムに同意はしていない。
- ・ 平成20年に白紙撤回したにも関わらず、私たちはいつまで振り回されるのか。
- ・ 流水型ダムが湛水した後、ヘドロや臭い、埃等の環境への影響が心配。
- ・ 流水型ダムを生かした観光振興は本当に出来るのか。
- ・ 五木村の安全・安心の確保のため、五木ダムを整備してほしい。
- ・ 河川の掘削をもっと実施してほしい。
- ・ 山地崩壊が続いている。県有林を生かした緑のダムができないか。
- ・ 村の振興を実現するためにも、具体的なスケジュールや財源等を示してほしい。
- ・ 復旧や振興は、五木村も含めて県南地域がワンチームとなって進めることが重要。
そのためにも、中心となる人吉市が流水型ダムで災害のない地域とする必要がある。
- ・ 県道宮原五木線の大通峠の低い位置にトンネルを整備してほしい。
- ・ 国道445号や宮原五木線が国道219号の代替道路となるよう強い道路にしてほしい。
- ・ “くねぶ”関連商品の販路拡大を進めてほしい。

(2) 今後のスケジュール

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 6月～ | 村民の皆様との意見交換
国・県・五木村による協議 |
| 秋頃 | 新たな五木村の振興計画の策定・公表 |

新たな五木村振興計画の目指す姿と4つの方向性

誰もが安全・安心で住み続けられ、若者が集まる
“ひかり輝く持続可能な五木村”の実現

林業を生かした村づくり



商業・物産振興と人材の確保



少人数教育を生かした
“地域を支え世界で活躍する”人材の育成

従前のダム計画における
未整備事業の整理

生涯にわたり住み続けられる
医療・福祉・教育の推進

誰もが安心して暮らせる
“コンパクト・ビレッジ”の実現



最先端技術による
便利な暮らしの実現(五木版DX)



安全・安心な
新たな生活拠点の整備



豊かな恵みを生かした
持続可能な産業と雇用の場の創出

すまい・仕事と一体となった
移住・定住の促進



水源地域整備計画の継続

流水型ダムへの転換に伴う対応

流水型ダムへの転換に伴う
新たな対応



あらゆる活動の基盤となる
通信ネットワークの整備

新たな時代を見据えた
安全・安心を確保する生活基盤の整備

主要な道路ネットワークの
強化・リダンダンシーの確保

ゼロカーボン時代の
“環境”を核とした新たな産業の創出



川や観光施設を生かした
“人が集い賑わう”拠点づくり



“清流川辺川”と“流水型ダム”
を生かした新たな振興

流水型ダムや湛水区域などの空間を生かした
観光振興・なりわいの創出



ダム建設工事に伴う経済効果の最大化



命・財産を守る
気候変動に対応した流域治水の推進

